

シンポジウム「テラヘルツ科学の最先端VII」発表プログラム

2020年11月19日

開始時間	終了時間	講演時間[時:分]	種別	講演番号	筆頭講演者	演題
9:30	9:55	0:25	開場			
9:55	10:00	0:05	開会挨拶			
10:00	10:30	0:30	招待講演	Inv1	田島治(京都大学)	ミリ波でみる竜巻・ゲリラ豪雨の予兆と宇宙創成
10:30	11:00	0:30	招待講演	Inv2	久武信太郎(岐阜大学)	テラヘルツ波帯における誘電体キューブのアンテナ応用と超解像イメージング応用
11:00	11:20	0:20	休憩			
11:20	11:35	0:15	一般講演	Con1	齋熊斌(東京工業大学)	矩形空洞共振器とスロットアンテナを集積した高出力高周波共鳴トンネルダイオードテラヘルツ発振器
11:35	11:50	0:15	一般講演	Con2	Li Wang(理化学研究所)	Assisted-scattering two-well terahertz quantum cascade lasers
11:50	12:05	0:15	一般講演	Con3	瀧田佑馬(理化学研究所)	光注入によるバックワードテラヘルツ波パラメトリック発振の高効率化
12:05	12:20	0:15	一般講演	Con4	Miezel Talara (University of Fukui)	THz Wave Generation of Diabolo-shaped Fe/Pt Spintronic Antenna with Application to Magneto-Optic Imaging (MOI)
12:20	13:30	1:10	昼食休憩			
13:30	14:00	0:30	招待講演	Inv3	佐藤昭(東北大学)	二次元プラズモンを用いたTHzディテクタの新展開
14:00	14:30	0:30	招待講演	Inv4	山田俊樹(情報通信研究機構)	非線形光学ポリマーのシュタルク効果を利用したテラヘルツ波検出
14:30	14:50	0:20	休憩			
14:50	15:20	0:30	招待講演	Inv5	時実悠(徳島大学)	マイクロ光コムを用いたテラヘルツ波発生とその研究動向
15:20	15:35	0:15	一般講演	Con5	中川真由莉(慶應義塾大学)	非同期サンプリング法によるテラヘルツ偏光分光測定装置の開発
15:35	15:50	0:15	一般講演	Con6	嶺颯太(名古屋大学)	デジタルマイクロミラーデバイスを用いたリアルタイムテラヘルツ分光器の開発
15:50	16:10	0:20	休憩			
16:10	16:40	0:30	招待講演	Inv6	村手宏輔(名古屋大学)	高速測定に向けたテラヘルツパラメトリック光源の開発
16:40	17:10	0:30	招待講演	Inv7	片山郁文(横浜国立大学)	ディラック電子系における非線形テラヘルツ応答

2020年11月20日

開始時間	終了時間	講演時間[時:分]	種別	講演番号	講演者	演題
8:35	9:00	0:25	開場			
9:00	9:30	0:30	招待講演	Inv8	Michael Ruggiero (University of Vermont)	Using Terahertz Spectroscopy to Probe the Mechanical Response of Crystalline Solids
9:30	9:45	0:15	一般講演	Con7	岡野真人(慶應義塾大学)	複素誘電率スペクトル解析によるポリ乳酸薄膜の熱誘起状態変化の観測
9:45	10:00	0:15	一般講演	Con8	東谷悠平(大阪大学)	正方晶ジルコニアのTHz誘起マルテンサイト変態
10:00	10:15	0:15	一般講演	Con9	井上美香(大阪市立大学)	テラヘルツ光渦誘起による金属細線からの特異なベクトル場の発生
10:15	10:35	0:20	休憩			
10:35	10:50	0:15	一般講演	Con10	Adam Vallés (Chiba University)	High pixel resolution terahertz imaging
10:50	11:20	0:30	招待講演	Inv9	坂本知昭(国立医薬品食品衛生研究所)	医薬品品質管理・製造工程管理への応用を目指したテラヘルツセンシング技術の開発研究について
11:20	11:50	0:30	招待講演	Inv10	山崎祥他(理化学研究所)	THz光の周波数帯特性を利用した細胞機能制御
11:50	12:20	0:30	閉会式			